

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				令和7年2月20日	
障がい児通所支援事業所 ぼのぼの							
環境・体制整備		チェック項目	はい	いいえ	意見	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	0	人数に対して広すぎる部屋があるのでパーテーション等で区切って広さを調整している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	1	十分に確保できている	適切ではあると思うが、利用者によって又は職員によってはそうでない時もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	2	日常生活動作の動線を確保し、子どもに伝える時に分かりやすい環境を構築出来ている。 バリアフリー化はある程度出来ている	まだまだ工夫できるところはあると思う 今年度少しずつ変化があった。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	2	3	毎日の清掃は心がけている。	建物が古いので、老朽していて雨漏り床の凹みなど清潔とはいえない 日々の清掃頑張ります 活動に合わせたスペースの確保が難しい時もあるが工夫で改善されそうなども多い
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	1	過ごせる部屋が数か所あるので、子どもの状態に合わせて部屋を使い分ける事が出来る。	時折事務所など使うこともあった
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2	1	ミーティングの時間を設けて、各自療育目的を明確にしながら活動を実施している。	意識していることと、そうでないことがある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	0	保護者さんの意見を大切にしながら業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	0	ミーティング、職員会等ですり合わせをしながら業務改善を行なっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	0	まだ第三者評価を受けていないので、受けたいと思っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	0	外部研修の参加園内研修等の実施を行ない職員スキルの向上に努めている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	0	西予総合福祉会のホームページにて掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	2	個別支援計画変更時にアセスメントの更新も行っている。またミーティング等でアセスメントの確認、変更を共通理解として把握して行っている。	アセスメントの取り方について、従来のやり方でもいいが、更に支援の実践や家族支援、方法の明確化につなげるようにできたらと考える 勉強中です
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	1	各担当が個別支援計画案を作成し、それを元に個別支援計画の作成を行なっている。	勉強中です
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	2	ミーティング内で計画に沿った療育プログラムを確認している	必要ない各自確認を行っている 支援計画に対する意識が各自低いと思う
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	1	アセスメントシートを元にアセスメントを作成している。	インフォーマルなアセスメントの共有は日々できている印象であるが、フォーマルなアセスメントの共有においては曖昧なところもある
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	0	ガイドラインの存在を各職員に知らせ、ガイドラインを元に療育を行なっている。年度初めにガイドラインの読み合わせを行なっている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	0	職員会、ミーティングで実施している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	1	子どもの発達に合わせたプログラムを実施していけるようにしている	柔軟に
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	0	子どもの発達課題に合わせて、集団療育と個別療育を実施している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	1	開始前に集まる事が出来ないで、前日に連絡ツールを通じて活動の把握、目的、留意点等を確認出来るように周知している。	ミーティングを行い積極的な意見交換を行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	1	毎回は出来ないが、なるべくできるように時間を工夫して作っている	機会を作り行っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	1	療育が終わった後に記録を取る時間を設けている	日誌など利用している
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	0	ミーティングや振り返りにモニタリングを行なっている	
関係機関や	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	0	基本的に児童発達支援管理責任者か、チームリーダーが参加するようにしている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	0	利用者が通っている医療機関等へ一緒に行きながらリハビリの様子を見せてもらい、ぼのぼのでも使えるようにしている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	0	併行通園している児童しか利用していないので特に交流会等は行なっていない。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	0	就学時期には小学校担当者や情報共有の場を設けている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					

保護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	2	1	地域に支援センターがないので支援センターのスーパーバイズは行ったことはない。	地域に発達支援センターがない
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受けられる機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	0	併行通園している児童しか利用していないので特に交流会等は行っていない。	
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	0	療育終了後には保護者さんにお便りを通じてその日の様子や子どもの成長等を伝えていっている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	0	年に数回ぐんぐんクラブ（保護者交流会）を通じて保護者同士の繋がりが持てるように開催している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	0	契約時に説明を行なっている。また園内に掲示しいつでも見れるようにしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	0	個人懇談を設けて保護者さんの意見を聞く機会を作っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	0	懇談時に説明を行い、同意を頂いている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	0	親子療育時に保護者さんとお話をする機会を設けながら保護者さんの意見や悩みを聞き取っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	1	父母の会等の設置はないので、希望があれば設置したいと思う。	保護者同士の交流の機会はあるが、きょうだい児の支援はない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	0	申し入れ等があった場合はその事項に合わせて迅速に対応できている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	0	広報しを通じて日々の療育の様子やほのぼのの周知を行なっている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	0	基本的に事務所の鍵付きロッカーに保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	0	その人にあった伝達方法で伝達している	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	0	園を地域に開放し、近所のお年寄り等がお花見をしたり、地域イベントに駐車場を開放している	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	5	0	各マニュアルを作成し、園内に掲示することでご家族等に周知を行なっている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	0	BCPを作成し訓練を実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	1	保護者面談時に聞き取りを行ないアセスメント内に記載している。また、職員に周知し、事故の内容に配慮を行なっている。	予防接種については、状況確認してはない
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	1	保護者面談時に聞き取りを行ないアセスメント内に記載している。また、職員に周知し、事故の内容に配慮を行なっている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	0	定期的に訓練を行なっている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	0	西予総合福祉会HPIにて安全計画を公開している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	0	リスク委員が園内のヒヤリハットを取りまとめ事故防止の提案をしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	0	年1回以上、虐待防止委員会の虐待防止研修に参加している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	0	身体拘束については契約時に説明を行い同意を頂いている。身体拘束が必要な児童については個別支援計画に記載している。	